
大学教育学会ニュースレター

No.85 2010.9.17

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局 : 桜美林大学淵野辺キャンパス内

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

TEL/ FAX : (042) 704-7014

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@gmail.com URL: <http://www.daigakuyoiku-gakkai.org/menu.htm>

「大学教育学会 2010 年度課題研究集会」

統一テーマ 「キャリア形成における大学教育－ライフサイクルの視点から－」

2010 年度課題研究集会企画委員会委員長

田中 每実(京都大学)

本学会の最近の課題研究では、大学職員の能力開発、学士課程の構想、教養教育の見直しなどのテーマが掲げられ、それぞれの角度から大学教育のありかたが検討されてきました。

ところで、今日の大学はもはや、青年期にある学生の「職業生活への準備」のための伝統型教育の場であるにとどまることはできなくなりました。大学は、中年期や老年期を含めたすべての年代の人々がリカレント教育などをおして「生涯の再構築をする」場ともなりつつあります。大学におけるキャリア形成には、大学のスタッフたちが自分たちの大学スタッフとしての成長をめざす“FD”ないし“SD”の営みをも加えなければなりません。大学は、＜多様な年代の多彩な人々がライフサイクル全体をとおして織り成す、複合的なキャリア形成の場＞という観点から、あらためて捉え直されなければならないのです。本課題研究集会では、大学教育の機能を、複合的なキャリア形成という角度から、総合的に把握することをめざします。

論議は、まずは、青年期の学生を念頭におくキャリア教育という切実な局面から出発します。しかし、この局面にとどまることはできません。論議はここからさらに、生涯教育と大学教育との関連を問う局面にまで至らなければなりません。このようにして、本研究集会の基調講演と開催校企画シンポジウムは、統一テーマ「キャリア形成における大学教育－ライフサイクルの視点から－」のもとにあります。このテーマは、わけても今回の研究集会にとって、ふさわしいといえます。それというのも、会場校である武庫川女子大学は、これまで、多彩なキャリアをめざす多様な年代の女性たちに働きかけようと努めてきているからです。

武庫川女子大学は、我が国有数の総合的な女性高等教育機関ですが、神戸と大阪を結ぶ交通至便な、しかも海側の快活な場に位置しています。本集会では、昭和5年に竣工した和洋折衷の歴史的建造物である甲子園会館（旧甲子園ホテル）の見学ツアーなども計画しています。会員の方々の参加をお待ちしています。

**大学教育学会
2010 年度課題研究集会
実施要項**

統一テーマ：「キャリア形成における大学教育－ライフサイクルの視点から－」

主催：大学教育学会

共催：武庫川女子大学

期日：2010年11月27日(土)・28日(日)

会場：武庫川女子大学 中央キャンパス (兵庫県西宮市池開町 6-46)

【スケジュール】

第1日：11月27日(土) 公江記念講堂

12:00	13:00	13:30	14:30	14:50	17:20	18:20	20:00
受付	開会 挨拶	基調講演	休憩	開催校企画 シンポジウム	移動 (見学)	懇親会	

懇親会場：武庫川学院 上甲子園キャンパス 甲子園会館西ホール

※バス(貸切)で移動

上甲子園キャンパス見学ツアー：事前受付けの方に甲子園会館と建築スタジオをご案内

第2日：11月28日(日) マルチメディア(MM)館

9:00	9:30	12:00	13:00	15:30	16:00
受付	シンポジウムⅠ シンポジウムⅡ	昼食	シンポジウムⅢ	閉会 挨拶	

関連行事

11月27日(土)10:00~12:00 常任理事会(公江記念講堂地下第1会議室)

第1日目 ————— 中央キャンパス 公江記念講堂

12:00 受付開始(公江記念講堂1階ロビー)

13:00~13:30 総司会：山崎 彰(武庫川女子大学)

開会行事(公江記念講堂)

開催大学学長挨拶 糸魚川 直祐(武庫川女子大学)

学会会長挨拶 小笠原 正明(筑波大学)

13:30~14:30

【基調講演】「大学教育とキャリア形成ーライフサイクルの視点からー」

講演講師 慶応義塾大学教授 井下 理

講演講師紹介 実行委員長 山崎 洋子（武庫川女子大学）

14:30～14:50 休憩

14:50～17:20

【開催校企画シンポジウム】

テーマ：「キャリア形成における大学教育ーライフサイクルの視点からー」

青年の就業が社会問題化するとともに、キャリア教育が法制化され、大学が将来の職業生活への準備に向けた教育内容や教育方法をどのように提供するかが大きく問われてきている。しかし他方、大学は、中年期や老年期を含めた多様な世代の人々が集い、そこでの豊かな学びをとおして生きることに再び向き合い、生涯を再構築する場ともなりつつある。これに加えて、大学には、スタッフたちが自らの成長をめざす "FD" や "SD" を展開することも求められている。大学におけるキャリア形成について考えるためには、多様かつ複合的な視点から検討・考察することが不可避である。開催校企画シンポジウムでは、大学をく多様な年代の多彩な人々がライフサイクル全体をとおして織り成す、複合的なキャリア形成の場と捉え、このような視点から、大学の教育機能について「複合的に」アプローチし、総合的に議論したい。各シンポジストからは、女子大学における青年期のキャリア教育、キャリア教育の在り方、複合的なキャリア形成といった観点から現状、問題点、課題などについて述べていただく。これらの議論に対してコメンテーターの意見を得た後、フロアを含めた全体討論を行うことにしたい。

シンポジスト：

福島 秀行（武庫川女子大学）「武庫川女子大学におけるキャリア教育への取り組み」

川嶋 太津夫（神戸大学） 「今求められるキャリア教育の背景とその在り方」

田中 每実（京都大学） 「「学問教育共同体」の現代的再編成について」

コメンテーター：大内 章子（関西学院大学）

司会者：矢野 裕俊（大阪市立大学）、山崎 洋子（武庫川女子大学）

17:20～18:20 懇親会場（上甲子園キャンパス）への移動および見学ツアー

公江記念講堂前より、バス（貸切）にご乗車ください。

※上甲子園キャンパス見学ツアーの参加者（事前受付の方：P.7 の 3）参照）は、必ず第1便のバスにご乗車ください。

18:20～20:00 懇親会 （甲子園会館 西ホール）

第2日目—————武庫川女子大学 中央キャンパス マルチメディア館（MM館）

9:00 受付開始（MM館 1階ロビー）

9:30～12:00

【シンポジウムⅠ】(MM館1階 メディアホール)

テーマ：「構築中の学士課程教育：プロGRESS・レポート」

2008年12月に公表された中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」以降、答申の提言に沿って各大学では、質保証を伴う学士課程の構築に向けて様々な取組が鋭意展開されている。

各大学での取組の参考となり、また、学士課程教育に関する研究を促進するために、本学会の課題研究「学士課程教育における学習目標設定・プログラム開発・評価のダイナミクス」では、昨年度の課題研究集会で、我が国の学士課程についての歴史的な総括と展望を行った。

このような各大学での改革状況や本学会での研究の進展を受けて、今年度は、各大学における学士課程教育の構築状況に関する学科長を対象とした調査の報告によって、全国的な構築状況と課題を学会員で共有するとともに、先導的な2つの事例報告を行い、他大学の取組への参考となることを期待したい。3つの報告と報告者は次の通り。

シンポジスト：

串本 剛 (東北大学)

「私学高等教育研究所学科長調査からみえる学士課程教育改革の現状と課題」

上 真一 (広島大学)

「広島大学到達目標型教育プログラム(HiPROSPECTS[®])」

山本 秀樹 (関西国際大学)

「アメリカUMRに学ぶコンセプトマップを用いたカリキュラム構築の手法」

コーディネーター(司会)：川嶋 太津夫 (神戸大学)

9:30~12:00

【シンポジウムⅡ】(MM館3階 MM302~304連続教室)

テーマ：「SDの新たな地平—「大学人」能力開発に向けて—」

本課題研究は最後のシンポジウムを迎えた。本研究は、従来のFD、SD論には十分に配慮されてこなかった大学人の能力開発を教職員相互間の関係の観点から捉えることを目的とし、いわゆる教職協働を視野に入れた「大学人」概念を明確にしようとしてきた。我々のこれまでの大会や課題研究集会における活動を振り返ると、ここでいう「大学人」とは、職員からアプローチすれば、教育研究にも一定の理解を持ち、その観点から大学運営の方針を教員と共有し、積極的に大学としての組織の特性を生かした職務内容を構築する大学勤務者像が浮かび上がってきた。その意味で、職員の専門性、教員とのコミュニケーション能力、企画立案能力などの重要性が議論されてきたし、その能力を十分に生かせる制度上の保証の必要性も議論されてきた。また、教員からアプローチすれば、自らの学問的専門性を生かしつつ、大学内での運営業務において、職員や専門領域の異なる教員との十分なコミュニケーション能力を持ち、それらの人々と十分に協働できる勤務者像がイメージされてきた。その意味で、従来の大学教員の陥りがちな視野の狭隘さや非協力的な態度の問題などが議論されてきた。本課題研究ではこれまで多方面から頂いた議論や我々内部の議論を踏まえ、会員を中心にアンケート調査をも実施した。今回は、現状における教職協働の必要性、その実態、教職員双方の相手に対する期待、目指す方向性などについての教職員の意識を分析し、その結果を報告するとともに、そこから見える課題について考察を加えて、総括を行う。そして、会員から最終討論をいただき、来年の最終報告にまとめ上げてゆきたい。

シンポジウム前半「シンポジウム結果および全体の総括と展望」

司会者：本郷 優紀子(桜美林大学)

発表者：清水 栄子(公立大学協会) 「アンケート結果の概要」
今田 晶子(立教大学)、秦 敬治(愛媛大学) 「アンケートから見えてくるもの」
佐々木 一也(立教大学)「当課題研究の総括と展望
—議論とアンケートを踏まえて—」

シンポジウム後半「総括討論」

司会者：寺崎 昌男(立教学院)

12:00～13:00 昼食休憩 (昼食会場：公江記念講堂地下1階 食堂「アゼリア」)

事前にお申込みされたお弁当は、昼食会場で引換券によりお渡します。

13:00～15:30

【シンポジウムⅢ】(MM館1階 メディアホール)

テーマ：「**共通教育のデザインとマネジメントー現状と課題ー**」

大綱化から約20年、その理念である「専門教育と教養教育の有機的連関」・「全学出動態勢」は実現されつつあるが、同時に、その矛盾点も明らかになりつつある。その一つが、専門教育による学士課程教育の支配であり、それに伴う共通教育(非専門教育)実施責任の「あいまい化」である。この問題に対して、本学会第20回大会シンポジウムにおいて天野郁夫氏は、専門教育を前提とした教員組織において教養教育を実施することの難しさと「ユニバーサル段階」における専門教育の見直しを指摘している(「専門教育を問う」)。

これまでの共通教育に関する議論を整理してみると、語学教育・自然科学基礎教育の到達目標を設定・達成するには専門の教員集団が必要であること、総合大学においてはディシプリン別の教養教育がテーマ別の教養教育へ移行しつつあること、職業教育中心大学においては資格要件との関係から教養教育が圧迫されていること、教育中心の大学においては体験を重視したスキル教育やキャリア教育が教養教育のみならず、学士課程教育の中心になりつつあるといった問題点があげられる。

旧教養部出身者の多くが退職時期を迎えている現在、従来型の共通教育の維持が困難になっていることは事実である。しかしながら、それは、同時に、大学の特性に応じて独自の学士課程教育を構想する機会でもある。本シンポジウムにおいては、天野提案に呼応するタイプの大学として、大綱化以降に設立された京都文教大学、教養教育と専門教育との境をなくした新潟大学の事例を取り上げ、共通教育についての議論を深めたい。

企画者：佐々木 一也(立教大学)・山内 正平(千葉大学)・吉田 香奈(山口大学)・古畑 徹(金沢大学)・小林 勝法(文教大学)

司会者：小山 悦司(倉敷芸術科学大学)・木本 尚美(県立広島大学)

シンポジスト：

吉永 契一郎(東京農工大学)「本課題研究の目的と計画」

中村 博幸(京都文教大学)「京都文教大学におけるガイダンス教育」

濱口 哲(新潟大学) 「新潟大学全学共通教育のデザインとマネジメント」

コメンテーター：舘 昭(桜美林大学)

15:30～16:00 閉会行事

学会会長挨拶 小笠原 正明(筑波大学)

次年度大会開催校・課題研究集会開催校紹介

閉会挨拶 2010年度課題研究集会実行委員長 山崎 洋子(武庫川女子大学)

＜課題研究集会参加申込み要領＞

課題研究集会に参加される方は、以下の要領で1)参加申込みの上、2)参加費等の払込みを行ってください。なお、準備の都合上、事前手続きにご協力ください。事前手続きにより、参加費・懇親会費を割引させていただきます（学生会員以外）。

＜事前手続き＞ 10月25日(月)までにお申込みの上、参加費等の払込みを、11月5日(金)までにお願ひします（期日厳守）。

1) 参加申込み方法

次の①または②のいずれかの方法で参加申込みをお願いいたします。

① 【オンラインでのお申込み】9月21日（予定）より、本学会ウェブサイトの最新情報欄に「2010年度課題研究集会のご案内」が掲載される予定です。同記事より、「大学教育学会2010年度課題研究集会（武庫川女子大学）参加申込フォーム」へアクセスができます。同フォームの指示にしたがってお申込みください。

[大学教育学会 URL] <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/menu.htm>

② 【FAX・郵便でのお申込み】同封の「参加申込書・要旨集申込書」に必要事項ご記入の上、実行委員会事務局（P.8参照）までお送りください。

※オンライン申込みの受付直後には「申込受付」メールを、申込み時に登録されたメールアドレス宛に送信します。FAX・郵便でお申込みの場合は、ご希望の連絡方法により「申込受付」をお知らせします。「申込受付」を受理されましたら、参加費等の払込みをお願いします。

2) 参加費等払込み方法

参加費等は、郵便振替による支払いをお願いします。振込手数料はご本人の負担となります。振替口座は以下のとおりです。参加者1名につき、払込票1枚でご入金ください。会員の方は、同封の「払込取扱票」をご利用いただくと便利です。なお、学会の年会費の郵便払込取扱票とは別になっていますので、ご注意ください。

課題研究集会 郵便振替口座
加入者名：大学教育学会 2010年度課題研究集会実行委員会
【口座番号】00970-1-281998

なお、銀行など他の金融機関からお振込みになる場合は、下記内容をご指定ください。

金融機関名：ゆうちょ銀行 支店名（店番）：〇九九（ゼロキュウキュウ）(099)

口座種別：当座、口座番号：0281998（※振込の際の口座番号桁数が異なります）

口座加入者名：大学教育学会 2010年度課題研究集会実行委員会

締め切り後にご入金の場合、課題研究集会当日までに入金を確認できないことがありますので、ご入金時の郵便振替払込請求書兼受領証を必ずご持参ください。

領収書は、当日受付でお渡しします。

【参加費等】（事前払込期日は11/5(金)です。）

申込み区分	会員・一般		学生 (特別割引)
	事前払込み	当日受付	
参加費（要旨集含む）	4,500円	5,000円	1,000円
懇親会費	4,500円	5,000円	2,000円
『要旨集』のみ	1部 1,000円（送料込み）		
弁当・お茶（28日昼食）	1,000円		1,000円（事前のみ）

- ・非会員の方も参加できます。オンライン申込みあるいは FAX・郵便でお申込み後、「申込受付」のご連絡時に参加費等をお知らせしますので、郵便局に備え付けの「払込取扱票」により、上記と同様の手続きをしてください。
 - ・学生や院生の方々が参加しやすいよう、参加費および懇親会費の特別割引をしています。会員の皆様におかれましては、非会員の学部学生や院生も含め、広く課題研究集会への参加を促していただきますようお願いいたします。また、これを機会に本学会加入呼びかけへのご協力もお願いいたします。
 - ・払込みされた参加費等は、理由を問わず返却いたしません。あらかじめご了承ください。
 - ・参加費等を払込みながらご欠席の場合は、後日、『要旨集』をお送りします。
- ※参加申込みとして登録された情報の内、事前に受け付けた方のお名前と所属機関名は、当日配付する『要旨集』の「参加者名簿」に記載させていただきます。

3) 上甲子園キャンパス見学ツアー

甲子園会館は、昭和 5 年甲子園ホテルとして竣工し、その後海軍病院、米軍の将校宿舎を経て国に接收された後、昭和 40 年に武庫川学院が譲り受け、教育施設として再生しました。設計は、フランク・ロイド・ライト（米・1867～1959）の愛弟子 遠藤新（1889～1951）の手になり、かつては「東の帝国ホテル（明治村で建物の一部を保存）、西の甲子園ホテル」と並び称され、阪神間における高級社交場としても賑わいました。現在は、平成 18 年 4 月から新設の生活環境学部建築学科（大学）、生活環境学研究科建築学専攻（大学院）のメインキャンパスとなり、学生や本学の生涯教育の場など多くの方に利用されています。

見学ツアーでは、甲子園会館と建築スタジオを約 40 分でご案内いたします。時間等の都合上、先着 60 名とさせていただきますので、ご希望の方は必ず申込み時にその旨お申し出ください。ご参加いただける方には、別途メール等でご連絡いたします。

※見学ツアー参加者以外で、甲子園会館のみの見学を希望される場合は、当日現地でお申し出ください。懇親会開始までの時間内で、ご案内いたします。

4) 11 月 28 日(日)の昼食

キャンパス内の食堂および売店は営業していません。弁当をご希望の方は、参加費とともに弁当代 1,000 円を払込んでご予約ください。弁当は、公江記念講堂地下 1 階食堂「アゼリア」にて、当日「弁当予約券」と引き替えにお渡しします。

大学周辺に若干のコンビニがございますが、日曜に営業している飲食店はあまりありません。

【会場へのアクセス】

武庫川女子大学 中央キャンパスへのアクセスは、本学ホームページにてご確認ください。

<http://www.mukogawa-u.ac.jp/gakuin/access.htm>

阪神本線「鳴尾」駅下車南出口より徒歩 7 分（学院正門よりお入りください）

JR 東海道線「甲子園口」駅下車 阪神バス乗車「武庫川学院前」下車すぐ。

<空路の場合>

大阪国際空港（伊丹空港）から空港リムジンバスで阪神甲子園駅前まで約 30 分。

神戸空港から神戸新交通ポートアイランド線で三宮まで 19 分。

関西国際空港から空港リムジンバスで阪神西宮駅・JR 西宮駅前まで約 60 分。

<新幹線の場合>

新大阪から JR で大阪（梅田）まで 4 分。

新神戸から神戸市営地下鉄西神・山手線で三宮まで 2 分。



【宿泊について】

阪神本線「甲子園駅」下車すぐのホテル「ノボテル甲子園」を、特別割引料金にてご利用いただけます。「ノボテル甲子園」から会場最寄りの「鳴尾駅」までは1駅です。宿泊される方は、1日目の懇親会終了後は甲子園会館からホテルまで、2日目の朝は会場まで、送迎バスをご利用いただけます。

ホテルの料金表は以下のとおりです。ご予約のお申込みは、9月21日(火)10:00より承りますので、「2010年度課題研究集会参加」として、各自ホテルにお申込みください。

先着順となりますのでご了承ください。

※「ノボテル甲子園」宿泊予約：0798-48-1111

ホテルの設備等は、ホームページでご確認ください。<http://www.novotelkoshien.com/>

【料金表】(表示価格は、1名様あたりの料金)

(1) モデレート/スーパーリア

シングル (13,000円) ⇒ 8,000円 (朝食付き: 10,000円)

ツイン (10,000円) ⇒ 6,500円 (朝食付き: 8,500円)

トリプル (9,000円) ⇒ 6,000円 (朝食付き: 8,000円)

(2) グランドスーパーリア

シングル (17,000円) ⇒ 9,000円 (朝食付き: 11,000円)

ツイン (12,000円) ⇒ 7,000円 (朝食付き: 9,000円)

トリプル (10,333円) ⇒ 6,500円 (朝食付き: 8,500円)

(3) エグゼクティブ

シングル (23,000円) ⇒ 11,000円 (朝食付き: 13,000円)

ツイン (15,000円) ⇒ 8,000円 (朝食付き: 10,000円)

トリプル (12,333円) ⇒ 7,500円 (朝食付き: 9,500円)

【2010年度課題研究集会 実行委員会 事務局】

「大学教育学会 2010年度課題研究集会 実行委員会」事務局
武庫川女子大学 情報システム室内 担当: 私市(きさいち)

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46

TEL:0798-45-3542 FAX:0798-45-3593

お問合せ用 E-Mail: kksj2010@mukogawa-u.ac.jp

＝事務局から＝

● 学会ウェブサイトのリニューアルについて

このたび本学会では、学会ウェブサイトのデザイン、機能を一新しました。9月21日より公開を予定しております。なお、URLに変更はありません。

● 「個人会員ページ」用ID、パスワードの発行について【重要】

ウェブサイトのリニューアルにあわせて、個人会員限定の「個人会員ページ」を開設しました。ログインしていただくためのIDと初期パスワードは、ニュースレターに同封した封筒「【重要】ID・パスワード在中」内の書面を必ずご確認ください。

● 会員情報更新のお願い【重要】

今年度は会員名簿の発行を予定しております。ウェブサイトが更新される10月以降、上記「個人会員ページ」にログインし、入力フォームに記載されている会員情報の確認、更新をお願いします。団体会員については、会員情報更新に関する書面を別途お送りいたします。個人会員、団体会員とも、10月末日までに会員情報の確認、更新をお願いいたします。

なお、個人会員の皆様には、個人会員ページの入力フォームの準備が整う10月1日以降、会員情報更新の依頼をハガキにて改めてお知らせいたします。また、インターネットをご利用にならない方は、お手数ですが9月末までに学会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡をお願いいたします。学会事務局に担当者が在室しているのは、月曜・火曜・金曜の10時30分～18時30分です。(事務局 Tel/ Fax 042-704-7014)

● 会費納入のお願い

今年度(2010年度)の会費が未納の方および過年度の会費・会誌代が未納の方々は、10月29日(金)までにご入金ください。(領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます。)

なお、入金状況について不明な方は、メールもしくはFAXにて4桁の会員番号を明記の上、お問い合わせください。追って、返答させていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金はなるべく郵便払込取扱票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。

※課題研究集会当日(11月27日・28日)は、会場に学会事務局の受付を設置し、未納分の会費納入、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布等を行いますので、ご利用ください。

● **大学教育学会第 33 回(2011 年度)大会について**

2011 年度第 33 回大会は、6 月 4 日（土）～5 日（日）、桜美林大学（町田キャンパス・多摩アカデミーヒルズ）にて開催予定です。

● **2011 年度課題研究集会について**

2011 年度課題研究集会は、11 月 26 日（土）～27 日（日）、山形大学にて開催予定です。

● **住所変更の届出についてのお願い**

定期発行物は、おもにヤマトメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず、数週間後、事務局へ返送されてまいります。事情をご考慮いただき、ご登録内容に変更が生じた場合は、事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。



【学会事務局】

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

桜美林大学淵野辺キャンパス 3 階

Tel/ Fax 042-704-7014

E-mail : ungakkai@gmail.com

URL : <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/menu.htm>